

《学校教育目標》		《重点目標（中長期的目標）》	
幅広い教養と高い専門性を追求し、社会に開かれた学びをとおして、平和な未来に貢献できる心豊かな人間を育成する		【ひとつづくり(豊かな情操を育む人間形成)】 1 生命の尊厳を自覚し、真理と正義を愛する知識・教養・創造性豊かな人間の育成に努力する。 【ものづくり(付加価値の創造)】 2 独創(Originality)・想像(Imagination)・工夫(Device)・努力(Effort)の精神を尊重し、工業・商業両分野における“ものづくりの拠点校”としての役割を果たす。 【学校づくり(充実した学びの場の構築)】 3 安心・安全な学校(いじめ・体罰のない)をめざすとともに、環境教育や総合技術高校としての専門教育の充実による特色ある教育システムを構築する。	
領域	項目	具体的な教育活動（R08）	具体的な教育活動（R08）
ひとつづくり	1 自他を大切にする心の育成	・様々な教育活動をとおして自己理解を深める取り組みを行い、自己肯定感や他人を思いやる気持ちを育てることにより、命を大切にする教育を推進する。 ・メディアリテラシー、人権平和教育等に関する教育活動を推進する。 ・「いじめ防止基本方針」を定め、「いじめ」を許さない学校づくりを推進し、いじめ被害の未然防止・早期発見・迅速な解決を目指す。 ・クラブ活動や生徒会活動に積極的かつ自主的に取り組む中で、周囲と円滑な人間関係を築き、他人を思いやる心を持った豊かな人間性を育む。 ・生徒自身が積極的に活動に取り組めるよう生徒会行事や日々の委員会活動を計画・実施し、その活動を通じて他人を尊重する態度や思いやりの気持ちを育てる。	
	2 基本的生活習慣の確立	・日常生活において、職員全体による働きかけから挨拶・服装・頭髪などに対する生徒自身の意識の向上と、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底を図る。 ・生徒会役員のあいさつ運動(4月、12月)、生活委員会の交通安全運動（4月）や身だしなみを整えさせる活動（5月、11月、1月）で全校生徒に働きかけ、基本的生活習慣を向上させる。	
	3 得意分野の伸長(卓越性の伸張)	・個々の意欲や特性ならびに能力を活かした活動ができるような環境や指導体制を整えるとともに、活動を校内外に広く発信することにより活動意欲を喚起する。 ・課題研究をはじめ様々な授業で積極的に外部との連携を図り、21世紀型スキルの1つであるコミュニケーション力を育成する。 ・授業、クラブ活動、行事等をリンクさせ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動して、問題を解決する能力を育む。 ・キャリアデザインにつながる資格・検定・コンテスト等の紹介や日程等の詳細な情報提供を行う。 ・終業式等の全校集会時に難易度の高い資格取得や検定合格を表彰し、資格取得に向けての意識づけを強化する。	
ものづくり	1 基礎学力の定着(高校教育の共通性確保)	・学習習慣を確立させ、学ぶ意欲の向上を図る。 ・3観点評価の適用に際しては、授業担当者間で連携をとりながら授業および定期考査の準備を行う。 ・家庭学習の習慣が身につくよう指導を行い、結果として資格取得に結びつけていく。 ・ICT機器を活用した学習支援態勢の構築を図る。 ・HRで活用できる道徳教育ワークシートを配布し、様々な社会的課題や地域の問題についての知見を深め、関心をもって問題解決に向かおうとする態度を養う。 ・1年、2年、3年ともに学年に合わせた地域への課題意識を持たせ、課題解決能力を育成していく。	
	2 専門力の伸張	・総合技術高校の特徴を生かし、工業科の生徒も商業科の授業を、商業科の生徒も工業科の授業を受ける環境を作り、生徒の知識の幅を広げるとともに、進路選択の幅も広げることができるよう、令和9年度に向けて授業計画を実施する。〔総合技術2年次授業検討委員会〕・各学科の教育指導方針に沿い、職業人としての心の育成、資格・検定取得のための指導、地域人教育での社会人基礎力の向上に取り組む。 ・実験実習や課題研究をとおして知識・技術、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を向上させ、専門分野の実践的な力を身につけ、探究心を育む。 ・「高度な専門性」を伸長させるために、大学や地域の企業等と連携して幅広い授業展開を行っている。 ・先端技術の見学を通して見識を深めるなど、視野を広げることでキャリア教育の充実を図る。〔機械工学科〕 ・県内の研究機関の見学や大学の出前授業、オリジナルのライントレースカー製作実習を通して電子機械分野の先進的な知識技術に触れ、専門性を高めるとともに創造性や将来への希望を喚起する。〔電子機械工学科〕 ・企業で活躍する本校卒業生を講師に招き、進路講話や技術披露等を通して高い目的意識を持たせながら専門的な高度資格取得とも連動を図る。〔電気電子工学科〕 ・複数の地元測量会社から卒業生を講師に迎えて最新測量機器の講習会を開催し、専門技術に対しての見識を深め学習意欲を喚起する。また、資格試験対策の実施や地域の企業団体の様々な協力により、資格取得に向けた意識の向上とキャリア形成を図る。〔社会基盤工学科〕 ・建築士会をはじめとする地域の建築業界から講師を招き、実践的な体験をすることにより建築技術の向上を図る。〔建築学科〕 ・地域人教育の取り組みを通して、地域の方との関わりを持ち、個々のコミュにケーション能力の向上を図るとともに、地域の課題を自分事として捉え、主体的に取り組む能力を養う。〔商業科〕	
	3 総合技術教育の推進	・「環境とビジネス（金融）」「地域活性プログラム」の授業通して、探究する力や協創する力の向上を図る。 ・他の総合技術高校との連携を深め、情報を共有することにより、学校設定教科「総合技術」の深化・発展を図る。 ・地域に根ざし、地域の課題解決のための課題研究に取り組む。 ・全校課題研究発表会の内容の充実を図り、本校の特色ある教育活動を企業や地域に向けて発信する良い機会と捉えて、効果的なPR方法を工夫していく。 ・令和9年度の2年次より、工業科の生徒には「商業基礎」、商業科の生徒には「工業基礎」を実施し、互いの授業の内容にも触れることにより、専門外の方の強みや重要性も理解させることができるような授業計画を実施する。〔総合技術2年次授業検討委員会〕	
	4 進路指導の充実	・キャリア学習や様々な進路行事をとおして自分の在り方や職業人としての生き方を構想する力を育む。 ・各種団体と連携して、会社見学や卒業生との懇談の機会を拡充する。 ・進路希望調査や面談により生徒・保護者の進路希望を把握し、専門高校の強みを活かした進路実現を支援する。 ・進学希望者、就職希望者に対する補習・面接指導を全職員の協力によって実施する。 ・入試制度や他校の指導事例に関する情報収集を行い、より効果的な指導を行えるようにする。 ・学習指導要領に呼応した評価・評定による進路指導関係の問題点を明らかにし、具体策を講じる。 ・「キャリアパスポート」のシートや学習支援サービスなどを活用し、自分の在り方や職業人としての生き方を構想し続ける力を育む。	
学校づくり	1 安心・安全な学校づくり	・危機管理意識を高め、事案発生の場合に迅速で適切な対応を目指す。 ・様々な教育活動をとおして「集団の中の自分、自分を取り巻く集団」という意識を持たせ、人との関わり合いを大切にする態度を育む。 ・職員間の情報共有を充実させ、不登校や障がいを抱えた生徒の日常生活を見守り、状況に応じてチームでの支援体制を整える。またSC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)をはじめとした専門機関と連携を図り、校内外での支援体制を強化する。 ・感染症の流行拡大時の諸対応を関係分掌が連携して的確に行えるよう準備をしていく。 ・クラブ活動や生徒会活動に生徒自身が主体的に取り組む、教員や仲間とのかかわりの中でコミュニケーション能力を高める。	
	2 環境美化の推進	・美化推進委員会が中心となり校内の清掃美化を全校生徒に働きかけ、環境美化に努める。また、ゴミの分別の徹底を通じ規範意識も身に着けさせる。	
	3 組織的な学校運営	・総合技術高校としての強みを生かし、新たな取り組みを探りながら学校を進化させていく。 ・工業科、商業科の代表職員で委員会を組織し、総合技術高校として、互いの学びについても興味関心を持ち、生徒が意欲的に他学科の学習にも意欲的に取り組めるよう、授業計画を実施する。〔総合技術2年次授業検討委員会〕 ・校務支援システム（C4th）の円滑な運用を、情報処理係と教務係が連携して進めていく。 ・授業公開や体験入学、学科別オープンキャンパス等、中学校ならびに地域への広報活動内容の更なる充実と効率的な運営方法を検討していく。 ・生徒1人一台端末(BYOD)の活用について、関係部署で検討を進める。 ・新たな入試制度に合わせ、情報処理係と連携を取りながら業務や運営の改善をし、適切に入学者選抜が行えるよう準備をしていく。 ・交通安全や個人情報の適切な扱いへの意識向上、わいせつ行為や体罰など非違行為の未然防止のための職員研修を実施する。	